

マイティウェルネスクラブ

須賀川市

もうすぐ再開予定!
新しい年も、スイミングで楽しみと笑顔をお届けします!

スイミングを通して、地域の健康と笑顔づくりを提供してきたマイティウェルネスクラブ。営業再開へ向けて、現在も懸命の復旧が続いています。「二階のプールや機械室などは水没し、想像以上の被害でした。新しい電気機械の到着を待ち、2月の再開を目指し復旧工事を行っているところです。」と代表の古川さん。浸水当日から「悲しんでいる時間はない。あきらめずに少しでも早く再開しよう」とスタッフと気持ちを一つに進んでいました。

そこには、被災を知りボランティアに駆け付けてくれた地元の方や、会員とその家族、マイティの卒業生などの存在があったといいます。「この施設が地域のお役に立っていると実感しました。うちが元気づけなければ須賀川は元気がない!2020年も子どもから大人までみんながスイミングを楽しみ、笑顔が広がるよう一日でも早く再開します。もう少しお待ちください!」



代表 古川 勝喜さん
釈迦堂川の増水で、プールをはじめ1階は3m以上が水没。水没して2日後、会員や卒業生が泥のかきだしや片付けに駆け付けた。



須賀川市館取町43
TEL.0248-76-3939
<https://www.wellnesports.jp>

川東 寿司幸

須賀川市

美味しいは元気のもとだから。新年も変わらせずに、ひたむきに握りつづけます

「美味しいと食べてくれる皆さんが幸せになれるよう、職人として、変わらさずひたむきに仕事をしています。これが、寿司幸の古田さんの令和2年の抱負です。」被災の翌朝、いち早く知り合いの工務店に連絡し、店内のリニューアルをすみやかに終えて約2週間でお店を再開し、お馴染みの味を多くの方へ届けました。その原動力は、自分達が握るお寿司を心待ちにしてくれた地元の皆さん。「美味しいものは元気の源。震災の復興もままならない中の浸水被害で、この辺りは中心地としてニュースにもなった。美味しいもので早く元気を届けたいと思っただけです。」一方で、「自分達が支えられていたことを確認できたといえます。寿司幸が大切にしているのは、目の利いた素材と手仕事へのこだわり。まずは新年のおせちから「あのお寿司」と喜ばれる味わいで令和を寿ぎましょう。」



代表取締役社長 古田 貴信さん



床上1mの浸水となった店舗、倉庫や送迎バス、出前車両の被害も1か月後には通常通りに。



再オープンにあわせ、お客様へ感謝の気持ちを込めた品を用意。



須賀川市小作田足原内22-2
営業時間 11:00~21:00
電話受付0248-79-3218 (8:00~19:00)

猫淵温泉 式部のやかた 井筒屋

石川町

旅館の原点に戻り 地域やお客様のために二層のおもてなしを

香り豊かな湯と長閑な自然に包まれる井筒屋の魅力のひとつは、目の前を流れる北須川の眺め。春には満開の桜がせせらぎとともに宿泊客を癒します。

「この通り、いつもはおたやかな川で浸水は初めて。床が濡れた程度で済み、お風呂も客室も無事で一日も休まず営業できましたが、いざという時に旅館は何ができるか考えるきっかけになりました」と満井さん。台風が接近する中、それでも宿泊を希望するお客様を迎え、翌日には無事お帰りのいただいたことにほっとし、「緊急時であっても、平常時と同じように接し、安心いただくことが宿の務めと改めて感じました。」

これと前後する昨年 10月、ベッドを備えたお部屋が加わった井筒屋。これからは創業150年のおもてなしの心に磨きをかけ、季節の移ろいと温泉を楽しむ、安心して滞在できる宿をめざしています。



▲本館にオープンしたベッドのあるお部屋



1階ロビーに侵入した水は2-3時間で引き、翌日も営業を継続。温まりやすく疲れが取れると評判の温泉も無事、日帰り入浴も可。



取締役 満井 吉一さん



石川町字猫淵22番地
TEL.0247-26-1131 予約0120-89-1228
<http://www.itsutsuya.co.jp>

くるくるファーム

鏡石町

地元の子どもの笑顔のために この経験を未来へつなげます。

東日本大震災が発生した時、東京で塾の講師や家庭教師をしながら音楽活動をしていた関根さんは、「原発事故に大きな危機感を抱き、地元の子どもの命を守るために何かできるかを考え始めました」といいます。その後、甥の誕生をきっかけに地元・鏡石へUターンし、農業研修を経て3年前に独立。オーランド式の環境制御ハウスでキュウリ生産を続けてきました。しかし今回、台風による堤防決壊で3mの水が押し寄せ、精魂込めた8棟のハウスは全壊。それでも、農や食を通して「子どもの命と健康を守る」という姿勢は変わらず、被災後も地元の幼稚園と協力し「事前味噌プロジェクト」大豆から味噌づくりの活動を続けています。「まだ再開の見通しは立っていませんが、今回の被災を新しく前に進むチャンスと考え、子ども達の幸せと笑顔のための活動につなげていきます。」



代表 関根 潤さん



浸水倒壊したハウスを前に「準備してきたプランを前進させるチャンス」と関根さん。新しいチャレンジの幕開けに。



▲地元の幼稚園の子ども達と、大豆を育て味噌を作る「事前味噌プロジェクト」



詳しくはSNSをチェック!
<https://www.facebook.com/crucufarm/>